



2024年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月15日

上場会社名 日本乾溜工業株式会社
コード番号 1771 URL <https://www.kanryu.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兼田 智仁
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 大谷 友昭
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
TEL 092-632-1050

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年9月期第2四半期 | 11,003 | 5.1 | 994 | 4.8 | 1,006 | 3.6 | 666 | 10.3 |
| 2023年9月期第2四半期 | 10,470 | 0.9 | 948 | 10.5 | 970 | 10.7 | 603 | 16.9 |

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 711百万円 (6.8%) 2023年9月期第2四半期 666百万円 (14.8%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年9月期第2四半期 | 134.43 | 54.61 |
| 2023年9月期第2四半期 | 120.99 | 49.35 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年9月期第2四半期 | 16,805 | 9,219 | 54.9 |
| 2023年9月期 | 13,438 | 8,607 | 64.1 |

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 9,219百万円 2023年9月期 8,607百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年9月期 | | 0.00 | | 17.00 | 17.00 |
| 2024年9月期 | | 0.00 | | | |
| 2024年9月期(予想) | | | | 17.00 | 17.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 17,700 | 4.8 | 1,005 | 6.6 | 1,021 | 1.8 | 670 | 9.9 | 131.93 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年9月期2Q | 5,102,000 株 | 2023年9月期 | 5,102,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2024年9月期2Q | 144,795 株 | 2023年9月期 | 144,795 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2024年9月期2Q | 4,957,205 株 | 2023年9月期2Q | 4,991,864 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

| 第1回優先株式 | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年9月期 | — | 0.00 | — | 8.00 | 8.00 |
| 2024年9月期 | — | 0.00 | | | |
| 2024年9月期(予想) | | | — | 未定 | 未定 |

(注) 2024年9月期の予想につきましては、配当年率が2024年10月1日の日本円TIBOR(6ヶ月物)に1.5%を加えた率によるため、現時点では未定とさせていただきます。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続きましたが、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念などによる景気の下押しリスクを抱えており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが主力事業とする建設業界におきましては、建設資材価格の高騰や建設労働者不足による労務費の高止まり等が続いており、受注環境は依然として厳しい状況で推移しているものの、公共投資は底堅く推移いたしました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は、110億3百万円（前年同四半期比5.1%増、5億32百万円増）、営業利益は9億94百万円（同4.8%増、45百万円増）、経常利益は10億6百万円（同3.6%増、35百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億66百万円（同10.3%増、62百万円増）となりました。

なお、当社グループの業績につきましては、主力事業である建設事業の通常の営業形態として、売上高が第2四半期連結会計期間に集中する傾向があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建設事業)

建設事業における工事につきましては、高規格道路における遮音壁の補修・取替工事及び橋梁補修等のメンテナンス工事が予定通り完成したことにより、完成工事高は前年同四半期を上回りました。

また、建設工事関連資材の販売につきましては、主力の交通安全施設資材販売は前年並みに推移しましたが、街中における駅舎のシェルターや横断歩道橋で使用する景観資材の販売が増加したことから、商品売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、建設事業の売上高は97億78百万円（前年同四半期比5.9%増、5億45百万円増）、セグメント利益は12億50百万円（同9.0%増、1億3百万円増）となりました。

(防災安全事業)

防災安全事業の業績につきましては、安全衛生保護具類の一部低調な発注により減少したものの、官公庁から防災資機材等の大型物件を受注したことから、前年同四半期を上回りました。

以上の結果、防災安全事業の売上高は12億25百万円（前年同四半期比5.3%増、61百万円増）、セグメント利益は87百万円（同2.0%減、1百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、168億5百万円（前連結会計年度末比25.1%増、33億66百万円増）となりました。

資産につきましては、流動資産が132億49百万円（同31.2%増、31億48百万円増）となりました。その主な要因は、第2四半期連結会計期間特有の傾向として売上債権の残高が前連結会計年度末と比較して増加する傾向にあることから受取手形・完成工事未収入金等の残高が32億40百万円増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、35億56百万円（同6.5%増、2億18百万円増）となりました。その主な要因は、当社グループの基幹システム更新に伴いリース資産が増加したこと等により無形固定資産が2億円増加したことによるものであります。

負債につきましては、75億86百万円（同57.0%増、27億55百万円増）となりました。その主な要因は、第2四半期連結会計期間特有の傾向として仕入債務の残高が前連結会計年度末と比較して増加する傾向にあることから支払手形・工事未払金等の残高が22億49百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、92億19百万円（同7.1%増、6億11百万円増）となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を6億66百万円計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、53億89百万円（前年同四半期比2.8%増、1億47百万円増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億12百万円の資金の増加となりました（前年同四半期比28.2%減、1億62百万円減）。その主な要因は、売上債権の増加により資金が32億62百万円減少しましたが、仕入債務の増加により資金が22億49百万円増加したことや税金等調整前四半期純利益を10億7百万円計上したこと等により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、40百万円の資金の減少となりました（前年同四半期は1億4百万円の増加）。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出により資金が41百万円減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億85百万円の資金の減少となりました（前年同四半期は1億92百万円の減少）。その主な要因は、株主配当金の支払いにより資金が1億円減少したことに加え、借入金の返済により57百万円資金が減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において概ね予定の範囲内で推移しており、2023年11月20日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日) |
|--------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,203,165 | 5,389,149 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 4,348,527 | 7,588,635 |
| 電子記録債権 | 120,897 | 142,754 |
| 未成工事支出金 | 228,879 | 41 |
| 商品及び製品 | 103,586 | 100,319 |
| 仕掛品 | 2,539 | 3,989 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,945 | 657 |
| その他 | 92,605 | 28,921 |
| 貸倒引当金 | △1,601 | △5,225 |
| 流動資産合計 | 10,100,547 | 13,249,242 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 574,999 | 552,765 |
| 機械、運搬具及び工具器具備品（純額） | 100,969 | 93,767 |
| 土地 | 1,008,840 | 1,008,840 |
| その他（純額） | 12,240 | 19,571 |
| 有形固定資産合計 | 1,697,049 | 1,674,944 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 627,309 | 575,033 |
| 顧客関連資産 | 238,448 | 218,577 |
| その他 | 20,135 | 292,773 |
| 無形固定資産合計 | 885,892 | 1,086,384 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 691,676 | 745,975 |
| 差入保証金 | 13,566 | 15,559 |
| その他 | 57,363 | 41,162 |
| 貸倒引当金 | △7,106 | △7,452 |
| 投資その他の資産合計 | 755,500 | 795,246 |
| 固定資産合計 | 3,338,442 | 3,556,575 |
| 資産合計 | 13,438,990 | 16,805,818 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 3,443,782 | 5,693,308 |
| 短期借入金 | 115,200 | 115,200 |
| 未払法人税等 | 119,225 | 366,940 |
| 未成工事受入金 | 84,245 | 83,738 |
| 賞与引当金 | 193,182 | 166,724 |
| 役員賞与引当金 | 28,504 | - |
| 株主優待引当金 | 4,810 | - |
| その他 | 296,881 | 464,735 |
| 流動負債合計 | 4,285,831 | 6,890,646 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 329,600 | 272,000 |
| 退職給付に係る負債 | 119,944 | 126,251 |
| その他 | 95,697 | 297,310 |
| 固定負債合計 | 545,241 | 695,562 |
| 負債合計 | 4,831,073 | 7,586,209 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 413,675 | 413,675 |
| 資本剰余金 | 698,570 | 698,570 |
| 利益剰余金 | 7,227,858 | 7,793,993 |
| 自己株式 | △56,761 | △56,761 |
| 株主資本合計 | 8,283,342 | 8,849,477 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 350,339 | 391,143 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △25,765 | △21,011 |
| その他の包括利益累計額合計 | 324,574 | 370,131 |
| 純資産合計 | 8,607,916 | 9,219,609 |
| 負債純資産合計 | 13,438,990 | 16,805,818 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 10,470,768 | 11,003,573 |
| 売上原価 | 8,200,708 | 8,493,998 |
| 売上総利益 | 2,270,059 | 2,509,574 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,321,277 | 1,515,356 |
| 営業利益 | 948,781 | 994,218 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 9,690 | 6,889 |
| 受取賃貸料 | 6,378 | 8,045 |
| 受取手数料 | 5,223 | 4,350 |
| その他 | 4,996 | 13,273 |
| 営業外収益合計 | 26,288 | 32,558 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,657 | 2,168 |
| 支払手数料 | 615 | 27 |
| 固定資産解体撤去費 | - | 18,175 |
| その他 | 928 | 156 |
| 営業外費用合計 | 4,201 | 20,527 |
| 経常利益 | 970,869 | 1,006,248 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 3,500 | 1,569 |
| 特別利益合計 | 3,500 | 1,569 |
| 特別損失 | | |
| 事業譲渡損 | 4,944 | - |
| 特別損失合計 | 4,944 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 969,424 | 1,007,817 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 261,112 | 350,775 |
| 法人税等調整額 | 104,361 | △9,365 |
| 法人税等合計 | 365,473 | 341,410 |
| 四半期純利益 | 603,951 | 666,407 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 603,951 | 666,407 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 603,951 | 666,407 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 58,296 | 40,804 |
| 退職給付に係る調整額 | 4,600 | 4,753 |
| その他の包括利益合計 | 62,897 | 45,557 |
| 四半期包括利益 | 666,848 | 711,965 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 666,848 | 711,965 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 969,424 | 1,007,817 |
| 減価償却費 | 62,554 | 96,953 |
| のれん償却額 | 52,275 | 52,275 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 4,115 | 3,969 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 3,294 | 13,142 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △82,245 | △26,458 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △29,749 | △28,504 |
| 株主優待引当金の増減額 (△は減少) | △4,600 | △4,810 |
| 受取利息及び受取配当金 | △9,690 | △6,889 |
| 支払利息 | 2,657 | 2,168 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | △3,500 | △1,569 |
| 事業譲渡損益 (△は益) | 4,944 | - |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △2,910,337 | △3,262,309 |
| 未成工事受入金の増減額 (△は減少) | 120,818 | △507 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | 119,932 | 231,661 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 2,286,005 | 2,249,526 |
| その他 | 69,717 | 189,399 |
| 小計 | 655,619 | 515,867 |
| 利息及び配当金の受取額 | 9,690 | 6,889 |
| 利息の支払額 | △2,625 | △2,158 |
| 法人税等の支払額 | △88,438 | △108,476 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 574,246 | 412,122 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △37,819 | △41,702 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 5,150 | 1,927 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △484 | △475 |
| 事業譲渡による収入 | 137,283 | - |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 104,129 | △40,250 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △57,600 | △57,600 |
| リース債務の返済による支出 | △1,443 | △28,097 |
| 配当金の支払額 | △86,664 | △100,191 |
| 自己株式の取得による支出 | △46,729 | - |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △192,436 | △185,888 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 485,940 | 185,983 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,755,743 | 5,203,165 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,241,684 | 5,389,149 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|-----------|--------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 建設事業 | 防災安全事業 | 化学品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,232,945 | 1,163,261 | 74,561 | 10,470,768 | — | 10,470,768 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 9,232,945 | 1,163,261 | 74,561 | 10,470,768 | — | 10,470,768 |
| セグメント利益 | 1,147,901 | 89,153 | 9,190 | 1,246,244 | △297,462 | 948,781 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△297,462千円は、報告セグメントに配分していない全社費用297,462千円であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|-----------|-------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 建設事業 | 防災安全事業 | 化学品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,778,377 | 1,225,195 | — | 11,003,573 | — | 11,003,573 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 9,778,377 | 1,225,195 | — | 11,003,573 | — | 11,003,573 |
| セグメント利益 | 1,250,943 | 87,325 | — | 1,338,269 | △344,051 | 994,218 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△344,051千円は、報告セグメントに配分していない全社費用344,051千円であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2024年9月期第2四半期（中間期）決算概要

1. 経営成績

1) 連結損益計算書

(単位：百万円、%)

| 勘定科目 \ 期別 | 当第2四半期 2024年3月 | 前第2四半期 2023年3月 | 増減 | 増減率 |
|------------------|-------------------|-------------------|--------|------|
| 売上高 | 11,003 | 10,470 | 532 | 5.1 |
| 営業利益 | 994 | 948 | 45 | 4.8 |
| 経常利益 | 1,006 | 970 | 35 | 3.6 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 666 | 603 | 62 | 10.3 |
| 一株当たり四半期純利益 | 134円43銭 | 120円99銭 | 13円44銭 | 11.1 |

当社グループの第2四半期（2023年10月1日～2024年3月31日）の連結業績は、売上高110億3百万円（前年同四半期比5.1%増、5億32百万円増）、営業利益9億94百万円（同4.8%増、45百万円増）、経常利益10億6百万円（同3.6%増、35百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億66百万円（同10.3%増、62百万円増）となりました。

セグメント別では主力の建設事業につきましては、高規格道路における遮音壁の補修・取替工事及び橋梁補修等のメンテナンス工事が予定通り完成したことにより、完成工事高は前年同四半期を上回りました。

また、建設工事関連資材の販売につきましても、主力の交通安全施設資材販売は前年並みに推移しましたが、街中における駅舎のシェルターや横断歩道橋で使用する景観資材の販売が増加したことから、前年同四半期を上回りました。

以上の結果、建設事業の売上高は97億78百万円（前年同四半期比5.9%増、5億45百万円増）、セグメント利益は12億50百万円（同9.0%増、1億3百万円増）となりました。

防災安全事業につきましては、主力の安全衛生保護具類の民間受注は低調であったものの、官公庁から仮設トイレ等防災資機材の大口受注を獲得することができました。

以上の結果、防災安全事業の売上高は12億25百万円（前年同四半期比5.3%増、61百万円増）、セグメント利益は87百万円（同2.0%減、1百万円減）となりました。

2) セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

| セグメント \ 期別 | 当第2四半期 2024年3月 | 前第2四半期 2023年3月 | 増減 | 増減率 |
|------------|-------------------|-------------------|-----|-----|
| 建設事業 | 9,778 | 9,232 | 545 | 5.9 |
| 防災安全事業 | 1,225 | 1,163 | 61 | 5.3 |
| ※化学製品事業 | — | 74 | △74 | — |
| 合計 | 11,003 | 10,470 | 532 | 5.1 |

※2022年11月末日をもって事業終了

2. 2024年9月期見通し（2023年10月1日～2024年9月30日）

1) 連結業績予想（単位：百万円）

| 勘定科目 \ 区 分 | 前回発表 (2023年11月20日) |
|-----------------|-----------------------|
| 売 上 高 | 17,700 |
| 営 業 利 益 | 1,005 |
| 経 常 利 益 | 1,021 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 670 |

当社グループの通期の業績予想につきましては、2023年11月20日に公表しました数値から変更ありません。

また、期末の配当予想につきましても、2023年11月20日に公表しました数値から変更ありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上